

印西大師 番外 富ヶ谷・薬師堂

- 1 名称 (No.286)〔資料館：○印〕
- 2 場所 白井市復677 薬師堂
法目・仏法寺から道程約1,900m
GPS座標 35.77653066027393, 140.05999582941374
- 3 由緒
- 4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体あり。
- 5 境内 大師堂のまわりは薬師堂と石造物がある。北隣りは鳥見神社。
- 6 写真 (2023.10撮影)



大師堂



大師堂



大師堂と薬師堂



大師堂



薬師堂



鳥見神社

7 情報

(1) 薬師堂

堂の軒には、明治四十一年の銘がある鐘がかかり、境内には寛永十四年(一六三七)に像立された宝篋印塔や力石が残されています。この力石は娯楽の少なかった時代に村の若者たちが力くらべ、腕自慢を競い合ったもので、重さを示す十七、四十貫(約五九、一五〇kg)と刻まれた石が五つ並んでいます。(北総鉄道「北総線の小さな旅」より)

(2) 鳥見神社

饒速日命(にぎはやひのみこと)、富美屋毘賣命(とみやひめのみこと)、宇摩志摩遲命(うましまじのみこと)を祭神としています。印旛沼西岸から手賀沼南岸に信仰圏を形成する鳥見神社のひとつで

すが、創建年代などの由緒については不詳です。境内の再建記念碑には旧社殿が慶安元年(一六四八)に建立されたとあり、それ以前から存在し、地域の産土神として守られたきたことがわかります。(北総鉄道「北総線の小さな旅」より)

(3) 鳥見神社再建記念碑

富ヶ谷区鳥見神社は饒速日命、富美屋毘賣命、宇麻志摩遲命を祀る。鎮座年暦は不詳。旧社殿は慶安元年(一六四九)に建立されたと伝えられる。代々に亘り当区産土神社として崇め奉れて参りましたが、其の尊い神様の神留まり坐す社殿も三百数十年の年月を経て老朽化も甚だしく、破損箇所も目立ち尊厳の護持も難しい状態と成りました。近時、改修の気運が起こり、氏子数が僅か九戸の小規模村ではありますが、よく心を合わせ協議の結果「新造営」が決議されました。直ちに建設委員会が構成され、氏子崇敬者からは予算を上回る奉賛金が寄せられ、起工より神霊の加護の下、恙なく立派に目出度く竣工しました。此れを後世に伝え、向後に氏子崇敬者皆様の繁栄と輝かしい未来への大いなる祈りを込めて記念の石碑を建立します。

平成十一年(一九九九)年十二月吉日